

東京開業ワンストップセンター（TOSBEC）は、会社設立に必要な各種手続きにワンストップで対応する相談窓口です。国と東京都が共同で運営し、赤坂のほか渋谷・丸の内にもサテライトセンターを設けています。

今回は、老後のお金に対する不安を解消するため、人生設計支援プラットフォームの構築で老後資金の“見える化”を目指す、石川泰さんにお話を伺いました。

利用者 リレーインタビュー ……………



株式会社LIFE FAB 代表取締役 石川 泰さん

プロフィール／大学卒業後、年金業務の政令指定法人や大手金融機関などで年金数理（アクチュアリー業務）、確定拠出年金に関わる営業、監督官庁等との確定拠出年金法案の折衝業務など一貫して年金関連業務に従事。老後2000万円問題などを契機に日本で実現ができていない公的私的年金・退職金を一元管理するプラットフォームの必要性を感じ、2021年1月に(株)LIFE FABを設立する。

将来のお金の“見える化”で老後資金の不安を解消

2019年に金融庁の市場ワーキンググループが「老後の30年で約2000万円が不足する」との試算を示し、世間をにぎわせました。人生100年時代が迫りくる現在、約8割の方が将来のお金に不安を感じていると言われています。

もちろん、この「2000万円」という数値はあくまで一つのモデルケースであり、必要となる老後資金は各人の年金額や退職金、生活費などによって当然変わってきます。つまり、老後資金の不安を解消するためにまず大切なのは、自分の将来の年金額や必要資産がいくらであるかを把握することです。

しかし、現在の日本では国の年金、会社の退職金が一元管理されていないため、それぞれ異なる老後の必要資産を把握するのは難しいのが現実です。

そこで、年金・退職金の情報を集約するプラットフォームを構築し、将来のお金を“見える化”することで、老後資金の不安解消に役立ちたい、と考えました。年金関連業務を専門としてきた自分の強みを生かせますし、社会的ニーズも高い。それが起業の動機です。

会社設立をサポートしてくれる公的機関を探しました

起業を決意したのは2020年6月です。翌年の3月末日で会社を辞めようと考えていたので、仕事をしながらプライベートな時間を使って事業計画を練り上げていきました。

銀行から融資を受ける関係で1月に会社を設立する必要が生じ、急いで会社設立の方法をネットで調べたのですが、そのためのツールやサービスがたくさんあることに驚かされました。しかし、最初で最後になるかもしれない会社の設立。どうせなら自分の手でやり上げたいという気持ちがありました。



そこで会社設立をサポートしてくれる信頼のおける公的機関はないものかと探したところ、TOSBECにたどり着きました。利用経験者の評判も良く、無料で相談に乗ってくれるところにも魅かれ、早速、まず電話をしてみることにしました。季節はもう12月に入っていました。

TOSBECのレスポンスの速さにびっくりしました

電話での対応がとても丁寧だったのがTOSBECの第一印象です。アドバイスも具体的でわかりやすかったですね。登記に必要な各種申請書類のひな形をメールで送っていただき、それに必要事項を記入して送り返すと、まるで“赤ペン先生”のように添削して返送されてきます(笑)。

しかも、そのレスポンスの速さにびっくりしました。1～2時間後には返信がくる感覚です。添削どおりに修正し、確認してもらって申請書類はOKです。こんなメールでのやり取りが数回あって、手続きは無事終了。これほどスムーズに進むとは思っていませんでした。結局、実際にTOSBECに足を運んだのは登記の手続きのとき1回だけ。会社勤めをしながら1か月弱で登記までこぎつけることができたのは、TOSBECのおかげです。



Point!

私からのワンポイントアドバイス

会社設立に関するインターネットサービスはたくさんあります。うたい文句はスピード感や手間がかからないことですが、利用者としての肌感覚でいえば、TOSBECはそれらに勝るとも劣らないと思います。しかも、公的機関である安心感もあります。

相談体験会を随時開催しています。参加者募集中！ **誰でも無料でご利用いただけます！**

【東京開業ワンストップセンター】

住所：東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル 日本貿易振興機構（ジェトロ）本部7階

電話：03-3582-8352 FAX：03-5561-4123

URL：<https://www.startup-support.metro.tokyo.lg.jp/onestop/jp/>